



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,162	5.9	684	1.5	714	2.8	470	0.9
30年3月期第3四半期	16,203	10.0	674	4.8	695	5.0	466	4.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 386百万円(△24.4%) 30年3月期第3四半期 511百万円(15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	52.91	—
30年3月期第3四半期	52.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	11,784	5,786	48.5
30年3月期	11,335	5,506	47.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,711百万円 30年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.3	720	9.8	720	5.8	470	5.5	52.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	9,389,000株	30年3月期	9,389,000株
31年3月期3Q	491,246株	30年3月期	491,243株
31年3月期3Q	8,897,755株	30年3月期3Q	8,897,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成31年2月8日に、四半期決算説明資料「第70期(平成31年3月期)第3四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)におけるわが国経済は、夏場に相次いだ自然災害の影響はあったものの、企業活動においては収益が高水準で推移する中、設備投資は省力化投資や東京五輪関連の建設投資、訪日外国人観光客対応のためのホテル建設等を中心に堅調に推移しました。

一方で個人消費は、雇用所得環境の改善が続いたものの消費マインドが盛り上がりならず、緩やかな持ち直しにとどまりました。

海外経済においては、米国では個人消費は減税に伴う可処分所得の増加などがあったものの景気拡大のペースは鈍化しました。欧州では合意なきBrexitへの懸念などを背景に下振れしました。中国では、個人消費は自動車販売などが減少、住宅投資も鈍化し、全体的に減速傾向となりました。

かかる環境下、当第3四半期連結累計期間における物流業界におきましては、米国からの輸入は持ち直しの動きがみられました。欧州からの輸入はおおむね横ばい、アジアからの輸入は、持ち直しの動きに足踏みがみられました。

輸出に関してはおおむね横ばいとなりました。

他方で、深刻なドライバー不足の継続、高水準な燃料価格の継続により、厳しい経営環境が続きました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物および水産物ならびに農産物は総じて増加となりました。

また、鋼材国内物流の当社取扱いにおいても増加に転じました。

このような状況の中、当企業集団は「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第6次中期経営計画「変化による進化」～Diversification～の2年目を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期間比5.9%増の17,162,977千円となりました。また経常利益は、前年同期間比2.8%増の714,409千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比0.9%増の470,803千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同期間比4.4%増の14,492,804千円となり、セグメント利益は前年同期間比2.5%増の1,300,821千円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、営業収益は前年同期間比0.4%増の1,158,867千円となったものの、セグメント利益は前年同期間比0.8%減の63,530千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、連結子会社を増やしたことにより港湾運送収入が増加した結果、営業収益は前年同期間比29.7%増の1,511,304千円となり、セグメント利益は、前年同期間比6.0%増の116,532千円となりました。

セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	13,884,273	85.7	14,492,804	84.4	608,530	4.4
鉄鋼物流事業	1,154,144	7.1	1,158,867	6.8	4,723	0.4
その他事業	1,165,139	7.2	1,511,304	8.8	346,165	29.7
合計	16,203,557	100.0	17,162,977	100.0	959,419	5.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第3四半期連結累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年12月31日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	5,955,148	42.9	6,305,967	43.5	350,818	5.9
水産物	2,378,302	17.1	2,458,445	17.0	80,143	3.4
農産物	1,868,839	13.5	1,996,714	13.8	127,874	6.8
その他	3,681,983	26.5	3,731,676	25.7	49,693	1.3
合計	13,884,273	100.0	14,492,804	100.0	608,530	4.4

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11,784,799千円となり、前連結会計年度に比べ449,379千円増加いたしました。これは主に、営業収益の増加に伴い受取手形及び営業未収入金が458,824千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,997,941千円となり、前連結会計年度に比べ169,472千円増加いたしました。これは主に、営業収益の増加に伴い支払手形及び営業未払金が204,707千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,786,857千円となり、前連結会計年度に比べ279,906千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が364,030千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,558	1,284,074
受取手形及び営業未収入金	3,261,635	3,720,460
たな卸資産	393,697	416,129
前払費用	123,613	146,349
その他	378,988	516,661
貸倒引当金	△28,050	△23,319
流動資産合計	5,493,443	6,060,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	546,987	499,823
機械装置及び運搬具(純額)	291,944	267,910
土地	2,282,394	2,282,394
リース資産(純額)	71,520	52,375
その他(純額)	36,878	34,635
有形固定資産合計	3,229,725	3,137,139
無形固定資産	386,483	352,553
投資その他の資産		
投資有価証券	750,661	755,516
破産更生債権等	10,254	9,804
繰延税金資産	365,540	348,642
その他	1,139,606	1,160,619
貸倒引当金	△40,294	△39,831
投資その他の資産合計	2,225,768	2,234,750
固定資産合計	5,841,976	5,724,443
資産合計	11,335,420	11,784,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,583,328	1,788,036
短期借入金	572,888	629,008
未払法人税等	107,316	95,642
賞与引当金	258,330	138,078
その他	552,963	654,019
流動負債合計	3,074,827	3,304,785
固定負債		
長期借入金	1,337,681	1,311,993
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
役員退職慰労引当金	7,296	—
退職給付に係る負債	1,025,016	1,029,476
長期未払金	93,651	75,128
その他	128,733	115,294
固定負債合計	2,753,641	2,693,156
負債合計	5,828,469	5,997,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	609,280	609,280
利益剰余金	3,875,607	4,239,638
自己株式	△194,136	△194,138
株主資本合計	5,146,801	5,510,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,613	65,853
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	25,364	21,374
退職給付に係る調整累計額	62,872	57,457
その他の包括利益累計額合計	288,138	200,973
非支配株主持分	72,011	75,053
純資産合計	5,506,950	5,786,857
負債純資産合計	11,335,420	11,784,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収益	16,203,557	17,162,977
営業原価	12,718,989	13,629,096
営業総利益	3,484,567	3,533,880
販売費及び一般管理費	2,809,811	2,848,981
営業利益	674,756	684,899
営業外収益		
受取利息	4,178	2,228
受取配当金	14,871	17,664
有価証券償還益	5,310	—
複合金融商品評価益	1,490	—
受取保険金	7,387	18,224
その他	9,361	15,727
営業外収益合計	42,599	53,844
営業外費用		
支払利息	18,141	14,856
複合金融商品評価損	—	7,480
その他	3,944	1,996
営業外費用合計	22,086	24,333
経常利益	695,269	714,409
特別利益		
固定資産売却益	2,068	1,500
段階取得に係る差益	3,250	—
投資有価証券売却益	511	—
特別利益合計	5,829	1,500
特別損失		
固定資産除却損	—	2,292
ゴルフ会員権評価損	577	2,050
特別損失合計	577	4,342
税金等調整前四半期純利益	700,521	711,567
法人税、住民税及び事業税	163,795	190,304
法人税等調整額	72,669	46,219
法人税等合計	236,465	236,523
四半期純利益	464,056	475,043
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,524	4,239
親会社株主に帰属する四半期純利益	466,580	470,803

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	464,056	475,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,393	△77,759
為替換算調整勘定	7,434	△5,181
退職給付に係る調整額	△2,643	△5,414
その他の包括利益合計	47,185	△88,356
四半期包括利益	511,241	386,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,724	383,639
非支配株主に係る四半期包括利益	△483	3,048

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	13,884,273	1,154,144	1,165,139	16,203,557	—	16,203,557
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	17,251	115,402	132,654	△132,654	—
計	13,884,273	1,171,396	1,280,541	16,336,211	△132,654	16,203,557
セグメント利益	1,268,533	64,027	109,958	1,442,518	△767,762	674,756

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用767,762千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	14,492,804	1,158,867	1,511,304	17,162,977	—	17,162,977
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	336	17,270	107,645	125,251	△125,251	—
計	14,493,140	1,176,138	1,618,950	17,288,228	△125,251	17,162,977
セグメント利益	1,300,821	63,530	116,532	1,480,884	△795,985	684,899

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用795,985千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。